

2. 事業の効果の発現状況

2. 事業の効果の発現状況

■説明・根拠等

【各地区の整備状況について】

整備された4地区（国崎地区、龍化地区、出合地区、洲張地区）は、整備以前は立ち入り出来ない、あるいはレクリエーション利用が殆ど出来ない状況でした。整備後は、散策や野外活動の拠点等としての利用が可能となり、多くの人に利用されるようになりました。

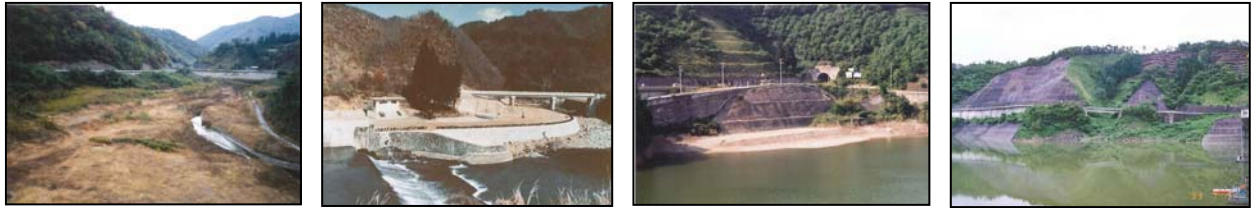


写真 整備前の状況（左から国崎地区、龍化地区(千軒キャンプ場整地直後)、出合地区、洲張地区)



国崎地区

せせらぎ水路、池・滝・なぎさ、
知明湖キャンプ場等



龍化地区

遊歩道、龍化吊橋、
千軒キャンプ場



出合地区

なぎさ、多目的広場



洲張地区 展望台

写真 各地区の整備状況

【各地区の利用について】

整備された施設等は、積極的に利用されています。

また、各整備地区には、水源地域の住民だけでなく、兵庫

県内や大阪市の北部・中部など、阪神地区からも多くの人を訪れ、都市近郊で身近に自然環境を享受できる場として、またバーベキューやキャンプ、親水などの野外活動を楽しめる場として認知され、多くの人に利用されています。



表 各整備地区が含まれる調査エリアの利用特性

整備地区	調査エリア区分	利用特性
国崎地区	田尻川流入端周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道 604 号及び 605 号により良好なアクセスが確保され、駐車場、トイレ等も整備されているなど、利便性や快適性が非常に高くなっています。 ・ キャンプ場や多目的広場、せせらぎ水路、なぎさ等が整備され、バーベキューやキャンプ、釣り、親水活動等の場として多くの人に利用され、一庫ダムの野外活動の中心的な拠点として機能しています。 <p><u>※調査エリアの主要部分を国崎地区が占めています。</u></p>
龍化地区	一庫大路次川流入端周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両岸にアクセス路となる市道が通り、上流端の千軒キャンプ場は国道 173 号からも至近距離でアクセス可能となっています。 ・ 龍化地区はやや渓谷的な様相を呈しており、多自然型護岸や遊歩道、釣り橋等の整備により、釣りや散策の場として多くの人に利用されています。 ・ また、グランドやキャンプ場、広場等の整備により、陸上スポーツや野外活動にも利用されています。 <p><u>※調査エリアの殆どが龍化地区となっています。</u></p>
出合地区	県立一庫公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 173 号にも隣接し、ダム湖周囲の道路以外からも整備地区へのアクセスが可能となっています。 ・ 出合地区には、なぎさや多目的広場等が整備され、釣りや散策の場、また湖面利用へのアクセスポイントとして、多くの人に利用されています。
洲張地区	ダムサイト周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一庫ダム湖活用環境整備事業において、最後の整備地区として県道 604 号に隣接する場所に整備されました。 ・ ダムサイト右岸の新たな拠点として、展望台や遊歩道等が整備され、散策や休憩しながら良好な眺望を楽しむ場等として利用されています。

表 一庫ダム来訪者の出発地別割合

地域	出発地	小計(人)	割合(%)
一庫ダム周辺	猪名川町	235	47.7
	川西市	589	
	能勢町	37	
	豊能町	97	
	地域合計(人)	958	
兵庫	宝塚市	45	14.8
	伊丹市	73	
	尼崎市	124	
	西宮市	18	
	神戸市	22	
	篠山市	2	
	芦屋市	1	
	三田市	9	
	姫路市	2	
	西脇市	1	
	佐用町	1	
	地域合計(人)	298	
大阪北部	池田市	53	15.0
	豊中市	105	
	吹田市	67	
	高槻市	22	
	茨木市	20	
	箕面市	35	
	地域合計(人)	302	
大阪中部	大阪市	316	17.6
	東大阪市	14	
	寝屋川市	6	
	四條畷市	3	
	門真市	3	
	摂津市	3	
	枚方市	2	
	八尾市	1	
	守口市	6	
地域合計(人)	354		
大阪南部	堺市	4	2.6
	松原市	1	
	河南町	1	
	高石市	1	
	太子町	46	
	地域合計(人)	53	
京都府	亀岡市	10	1.7
	向日市	1	
	長岡京市	6	
	城陽市	1	
	京都市	17	
	地域合計(人)	35	
奈良	生駒市	5	0.4
	橿原市	2	
	奈良市	2	
	地域合計(人)	9	
合計	(人)	2,009	100.0

【河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）で把握される利用状況について】

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）は、ダム周辺整備計画等の検討の際の基礎データとして資することを目的に、河川水辺の国勢調査の一環として平成3年度から3年毎に実施されています。

国崎地区の利用が多くを占める「田尻川流入端周辺 調査地区」や龍化地区が殆どの調査区域を占める「一庫大路次川流入端周辺 調査地区」では、本事業で整備されたキャンプ場やせせらぎ水路を利用した野外活動が非常に多く見られる等、整備された施設等が利用促進を牽引しており、各整備地区の利用状況が調査結果に大きく影響しています。

なお、洲張地区は「ダムサイト周辺 調査地区」に含まれ、出合地区は「県立一庫公園 調査地区」に含まれています。

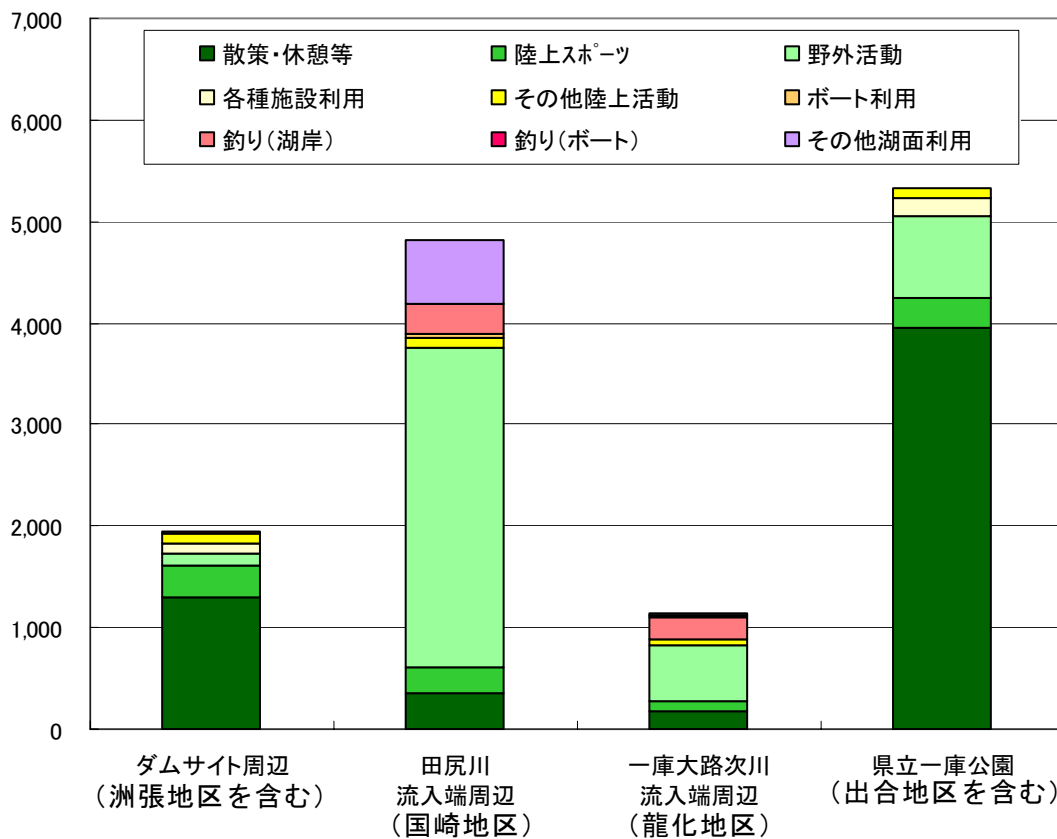


図 調査地区における利用形態別の利用状況（平成18年度全調査回累計）

※出典：「平成18年度ダム湖利用実態調査 報告書」（平成19年2月 独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所）

【イベント等の開催について】

整備の実施により、湖畔や湖面利用における拠点が創出されたことにより安全で快適な利用が可能となり、様々なイベント等も開催されるなど、市民交流の機会が促進されました。



写真 一庫ダムで開催されているイベント等（左からレガッタ大会、アユの放流、マラソン大会）

【参考：河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果等】

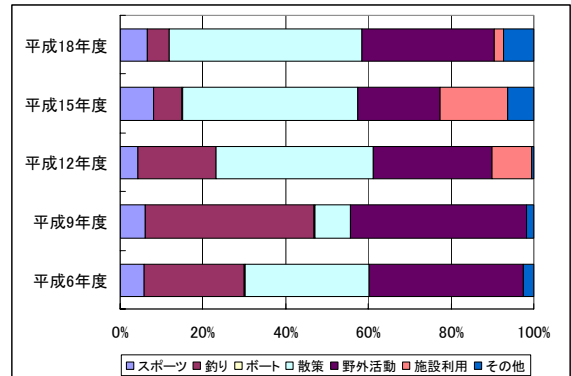
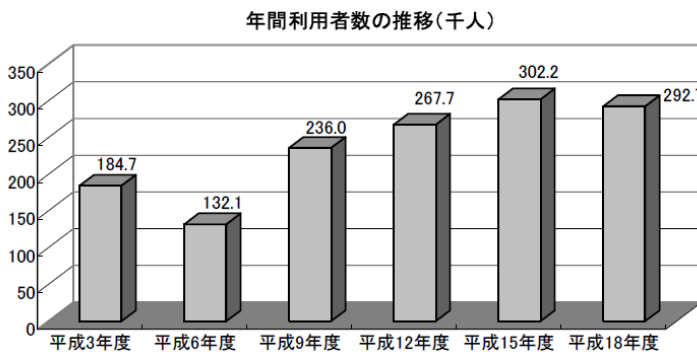


表 利用形態別及び利用場所別の利用者割合

年度	利用形態区分							利用場所別		
	スポーツ	釣り	ボート	散策	野外活動	施設利用	その他	ダム	湖面	湖畔
平成6年度	5.9%	24.0%	0.3%	30.0%	37.3%	0.1%	2.5%	2.9%	24.5%	72.5%
平成9年度	6.1%	40.8%	0.1%	8.6%	42.6%	0.0%	1.7%	1.8%	41.7%	56.5%
平成12年度	4.2%	18.9%	0.0%	38.0%	28.9%	9.6%	0.4%	0.4%	19.1%	80.5%
平成15年度	8.1%	6.9%	0.0%	42.5%	19.8%	16.5%	6.3%	3.4%	8.3%	88.3%
平成18年度	6.6%	5.2%	0.1%	46.6%	31.9%	2.3%	7.3%	2.3%	9.9%	87.8%

表 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）における利用形態区分

利用形態区分		対象とする利用	
陸上利用	散策、休息、花見等	観光・旅行、山菜とり、花見・紅葉・新緑見物、散策、遠足・ピクニック、休憩・トイレ利用等	
	陸上スポーツ	テニス、サッカー、(ミニ)ゴルフ、マラソン・ジョギング、ゲートボール、サイクリング、野球、ソフトボール、その他の陸上スポーツ等	
	その他	野外活動	キャンプ、写真撮影、写生、野外バーベキュー、昆虫採集、バードウォッチング、その他のアウトドア活動等
		各種施設利用	レストラン、売店、ホテル、温泉、資料館、記念館、有料遊戯施設、〇〇センター(ミニSL、ゴーカート等)等
	その他*	各種お祭り、催し物など、ダム見学等の学習活動、環境学習、コンサート、その他の陸上利用、仕事等	
湖面利用	釣り	ボート利用	ボートに乗って釣り糸を垂れている人
		湖岸	湖岸で釣り糸を垂れている人
	遊覧	手こぎボート、サイクルボート、遊覧船	
	水上スポーツ	ヨット、水上スキー、ウィンドサーフィン、漕艇、カヌー、その他の水上スポーツ	
	その他	水泳、水遊び、その他の湖面利用	

出典：「平成21年度 河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕 ダム湖利用実態調査<第7回>調査マニュアル」(国土交通省河川局 河川環境課)

■総括

- ◆本事業によるなぎさや湖岸整備、斜路の舗装などによる湖面や湖畔へのアプローチ施設、親水施設等の整備は、湖畔を中心に湖面を含めて水辺の利用者の増大につながっています。また、駐車場やトイレ、防護柵等の整備は安全で快適な利用に役立っています。